

木津川市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会 会議経過要旨

会議名	第1回木津川市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会		
日時	平成27年5月12日(火) 午後2時～4時	場所	木津川市役所 5階 全員協議会室
出席者	委員 ■福本 佳子委員、■山川 博一委員 ■真山 達志委員(会長)、■今里 佳奈子委員(副会長) ■市川 浩之委員、■中村 香苗委員、■川森 昌代委員、 ■北島 宣委員、■本多 浩治委員、■中島 浩之委員、 □久保田 文子委員、■七條 歩委員、□佐脇 貞憲委員、 ■西村 正子委員、■三上 かず子委員、■加藤 千景委員、 ■梅本 好成委員、■佐藤 啓子委員、■大倉 竹次委員、 ■湯瀬 敏之委員		
その他	株地地域未来研究所 倉嶋 祐介		
事務局	尾崎市長公室長、尾崎学研企画課長、茅早企画政策係長、 富井企画政策係主任		
議題	1. 開会 2. 市長挨拶 3. 委員紹介 4. 会長及び副会長の選出 5. 議事 (1) 報告事項 ①委員会の会議及び運営について【資料1、別紙1、別紙2】 (2) 協議事項 ①木津川市創生総合戦略作成におけるこれまでの経過及び今後のスケジュール 【資料2】 ②将来人口推計について【資料3】 ③市民アンケート調査について【資料4、資料4-1】 ④木津川市創生総合戦略(骨子案)について【資料5】 6. その他 7. 閉会		
会議結果要旨	1. 開会 開会を宣言した。 2. 市長あいさつ 河井市長からあいさつがあった。 3. 委員紹介 事務局から、委員の紹介があった。		

	<p>4. 会長及び副会長の選出 運営内規に基づき、会長として真山委員を、副会長として今里委員を選出した。</p> <p>5. 議事</p> <p>(1) 報告事項</p> <p>①委員会の会議及び運営について 資料 1 に基づき、事務局から委員会の概要と運営について報告があり、確認した。</p> <p>(2) 協議事項</p> <p>①木津川市創生総合戦略作成におけるこれまでの経過及び今後のスケジュール 資料 2 に基づき、事務局から木津川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定スケジュールについて説明があり、確認した。</p> <p>②将来人口推計について 資料 3 に基づき、事務局から木津川市の人団動向及び将来人口推計結果について説明があり、確認した。</p> <p>③市民アンケート調査について 資料 4 及び 4-1 に基づき、事務局から総合戦略作成にかかる市民アンケート調査について説明があり、確認した。</p> <p>④木津川市創生総合戦略（骨子案）について 資料 5 に基づき、事務局から総合戦略の骨子（案）について説明があり、確認した。</p> <p>6. その他</p> <p>①次回法定協議会の日程について 正・副会長と調整し、後日、文書にて通知することとした。</p> <p>7. 閉会</p>
会議経過旨 要	<p>1. 開会 会議結果要旨のとおり。</p> <p>2. 市長あいさつ 昨年 5 月に、日本創成会議が、2040 年には日本の自治体の半分が消滅の危機にあると衝撃的な発表をされた。 このような中、国は、自分たちのまちは自分たちの力でといった、地方創生に取り組む必要があるとし、まち・ひと・しごと創生法を公布された。 木津川市においては、ニュータウン開発等で、30 代から 40 代、いわ</p>

<p>◎会長 ○委員 →事務局</p>	<p>ゆる子育て世帯の転入や出生率が高く、全体としては人口が増加しているが、増加する今のうちから、本腰を入れて人口減少・少子化などの課題に取り組む必要があるとして、木津川市の創生総合戦略を作成することとした。</p> <p>この委員会には、学識者やそれぞれの分野で、まちの活性化に取り組んでいただいている方に就任いただいている。これまでの経験をもとに、それぞれの立場から、木津川市の創生に向け、ご意見を賜りたい。</p> <p>また作成する木津川市の創生総合戦略の実現に向け、引き続きご活躍されることを期待する。</p> <p>3. 委員紹介 会議結果要旨のとおり。</p> <p>4. 会長及び副会長の選出 会議結果要旨のとおり。</p> <p>5. 議事        (1) 報告事項        ①委員会の会議及び運営について        【主な意見・質疑等】(○…質疑・意見、→…質疑・意見に対する返答)        質疑なし</p> <p>(2) 協議事項        ①木津川市創生総合戦略作成におけるこれまでの経過及び今後のスケジュール        【主な意見・質疑等】(○…質疑・意見、→…質疑・意見に対する返答)        質疑なし</p> <p>②将来人口推計について        【主な意見・質疑等】(○…質疑・意見、→…質疑・意見に対する返答)        ◎今日の日本各地での人口推計をみると、木津川市のような右肩上がりのグラフを見ることは殆ど無い。木津川市では、社人研などの推計では、増加することが予測されているが、今後、何も取り組まないで推計どおりになるのではなく、戦略に則り、様々な取組みを実施していくことで、これらの推計よりもさらに人口が増えるのではないかということが独自で推計されている。今後の戦略の検討で、前提となる数値として認識いただきたい。</p>
-----------------------------	---

	<p>③市民アンケート調査について</p> <p>【主な意見・質疑等】(○…質疑・意見、→…質疑・意見に対する返答)</p> <p>○これまで市民に対しアンケート調査等を実施したことはあるのか。 →政策の目的に応じて実施している。事務局の例をあげれば、総合計画後期基本計画策定時に、市民アンケート調査を実施した。</p> <p>○アンケートの具体的な内容である資料4-1を具体的に説明されたほうがよいのではないか。 →資料4-1に基づき、事務局から説明があり、確認した。</p> <p>○高齢者施策が乏しいと感じる。市内には、高齢者が増加する地域があり、このアンケート調査も、現高齢者が抱える健康問題や望むことなどを回答するようにするべきである。 また、定住化を促進するまちづくりを考えていくことが重要ではないか。</p> <p>○質問Gで老後の生活について質問しているが、現若者向けのニュアンスが感じられるので、再考が必要である。</p> <p>○高齢者が家に引きこもっている現状もある。このような人達の生活実態を明らかにし、感じていることを把握し、意識を外の活動に向けていくには、詳細なアンケートを取らないと分からぬのではないか。 →内容について、検討させていただく。</p> <p>○問3に郵便番号があるが、本人でも自宅の郵便番号が分からぬといふ方が多いと感じている。より簡単に書けるよう再考頂きたい。</p> <p>○木津川市内に郵便番号はいくつあるのか。もし比較的少数であるならば、選択式にしてはいかがか。</p> <p>○煩雑になってはいけないので、現実的な範囲で対応いただきたい。 →検討する。</p> <p>○アンケートは、善意で答える内容だが、結婚等のプライベートに関する質問もあり、答えたくない場合は飛ばして良いといった考え方が必要ではないか。 また、状況に直面する・当事者になるなどしないとリアルな要望は出てこない。遠い将来のことに関しては実感がわかないのではと考える。</p> <p>○答えたくない場合は、答えなくても良いなどの説明を、送付文で、フォローされてはどうか。 子育て・老後に関しては、その状況に置かれてみなければわからないというはあるだろうが、当事者か否かはクロス集計で処理できるので、そのあたりはアンケートという性格上ある程度はやむを得ないと考える。</p> <p>○せっかくのアンケートだが、不愉快に思われると、本音が出ない・批判的・攻撃的になるなどの懸念もある。</p>
--	--

本来は、市民との対話が必要だが、それに代替する手段としてのアンケートだと思うので、「市民の本音を知りたい」ということをいかにお願いするかが重要ではないか。また結果をどう使っていきたいかといった“思い”を書いてはどうか。

さらに、結果は市民にもわかる形で戦略に盛り込んで欲しい。

◎策定上、今回のアンケートが意見収集の全てということでもなく、送付時にどのように説明するのかは難しいが、工夫をして頂きたい。本日の議論をベースに、修正を行い実施するということで認識いただきたい。

#### ④木津川市創生総合戦略（骨子案）について

【主な意見・質疑等】（○…質疑・意見、→…質疑・意見に対する返答）

◎先程もあったが、骨子からは高齢者対策といった分野は見えてこない。実は、国の基本方針にも高齢者対策は入っておらず、ここで高齢者対策を入れると國の方針と異なってくるという課題もある。地域によっては、高齢者問題が喫緊というところも多く、そういう意味では、国はあまり地方の実情を理解していないとも言える。

○アンケートに骨子案を盛り込んではどうか。間接的でも構わないので、骨子案から抽出した設問を追加してはどうか。

◎骨子（案）では、既に市で取り組まれている内容が例示的に示されていると思うので、検討すること。

ただし、既に設問が30問以上あり、かなり重い内容となっている。4頁・20問程度が本来は望ましいので、ボリューム過多にならぬよう調整すること。

○骨子案に木津川アートが盛り込まれており、関係する者として安心した。

◎今ある活動をいかに発展させていくかという観点は重要である。また、市民や団体は何がやりたくて、行政はどうサポートできるのか、といったところが重要な方向性ではないかと考えている。

骨子（案）は、確定ではない。市内の各課でも検討が進んでおりこれをベースに進めていくということを認識いただきたい。

○木津川市は、海外との姉妹都市提携が一件もない。私は交流協会としてサンタモニカ市との交流を行っており、先方の市長とも提携の交渉もしている。外国人との接点強化や外国人の困り事対策等、ケアについても盛り込んで欲しい。

◎現状、国際化・グローバル化が見える構成ではない。交流・雇用もグローバルに捉えていかなくてはならない時代であり、事務局には、骨子として1本立てるかは別として、重要なキーワードとして認識頂き

	<p>たい。</p> <p>○予算が必要であるが、本庁舎横に元木津町商工会の建物がある。市の管理であると、耐震問題もあり、いずれ解体される懸念もある。そこで、アートに興味がある若者に改装してもらい、イベントや祭りの情報拠点として活用してはどうか。このような空き家の活用も、同様に検討いただきたい。</p> <p>○眠っている資源を活用してもらいたいということと思う。骨子の地域との連携に属する施策と考える。どのように活用していくか、費用はどうするか、など戦略として検討してはと考える。</p> <p>○農家であるため、食育に力を入れている。保育園での販売会をきっかけに、子どもたちに食べてもらい、好き嫌い等が無くなればと思うようになった。子育て支援ナンバー1を目指すのであれば、食について考える場の創設が必要と考える。</p> <p>○農業振興という視点は入っているが、環境、教育などもう少し多角的に捉えて盛り込んでいただければと思う。</p> <p>○少子高齢化対策を進める中で、木津地域で育児育場という提案もあった。全体として色々な課題が関連しているという共通認識を持ち、木津川市ならではの計画を作るやりとりをさせていただければと思う。</p> <p>○現骨子（案）は、概ね従来型の計画となるので、国が期待しているような面白い・新しいアイデアを盛り込み、差別化を図っていかなければと思う。キーワードをベースに職員で検討を進めていただくとともに、委員会では、縦割り行政に縛られないアイデアを出したい。</p> <p>→次回は7月を予定している。</p> <p>この会議では、地域で活動されている皆さんのお意見を伺い、市の実情に合った戦略の作成をお願いしたい。骨子（案）は平成27年3月に国へ提出した今年度取り組む施策を記載したものであるが、この施策が全てとは考えていないので、この内容に加えて、様々な意見を頂戴し、戦略に盛り込んでいきたい。</p> <p>6. その他</p> <p>①次回法定協議会の日程について 会議結果要旨のとおり。</p> <p>7. 閉会</p>
その他の 特記事項	